

子どもの日の歌

三 惣 橋 倉

ごつだ ごつだ
ひかりの ごつだ

はれろよ はれろよ
あかるく はれろよ

ことまだ ことまだ
ひかりの ことまだ

のびろよ のびろよ
おおきく のびろよ

うたえよ うたえよ
たのしく うたえよ
おどれよ おどれよ
げんきに おどれよ

「子どもの日の歌」振付について

戸 倉 ハル

「子どものひのうた」振付について
紺青にすみわたつた五月の空に、陽春の大氣を胸
一杯にすいこんで、およいでいる。ひどい、まごい
の姿は、これから伸びて行く男の子の明るい象徴で
ある。

一たびまなこをおとせば、眼にしめるような青葉
梢をもれ陽光、これ又、希望にみちて、伸びやかな
五月そのものの姿である。この喜びの日に、この喜
びの歌をうたわせてこの喜びのゆうぎを、心ゆくまで
子供の心にうつたえて、させたいと思う。

準備 花子と太郎と二人向き合

う 前奏 二小節 静かに待つ
(一番)

こがつだ こがつだ

ひかりのこがつだ
両膝を軽く屈伸しながら、一

小節に二つづく拍手をする。
はれるよ はれるよ

二人は体前で両手を組んで、
好きな方にあるくかけ足をする。
はれるよ はれるよ

両膝を軽く二回屈伸させながら、両手で前膝をかるく二回打つ。

あかるく
向き合う。

はれるよ
互に手を三回軽く打合せる
(二番)

こがつだ

はれるよ
二人は体前で両手を組んで、
好きな方にあるくかけ足をする。
はれるよ はれるよ

こどものひのうた

詞 作曲
倉橋 慎三 作曲
弘田 龍太郎 作曲

J=76

ひかりのことなどもだ ひかりのことなどもだ ひかりのことなどもだ

「こどものひのうた」
拍手を二回する。
「こどものひのうた」の動作
を再びくりかえす。
のびるよ のびるよ
大きくなるよ

うたえよ うたえよ うたえよ うたえよ

「はれろよ はれろよ あかるくはれろよ」と同じ動作をする。
(三番)
うたえよ 前に出してかゝとをつけると

うたえよ うたえよ うたえよ うたえよ

同時に、両手を口元によせる
うたえよ
足を前に出して、かゝとをつけると
け両手を口元によせる。

「うたえよ うたえよ」と同じ動作をくりかえす。
たのしく うたえよ
おどれよ おどれよ
げんきにおどれよ
一番の「はれろよはれろよ」と同じ動作をする。

